

■児童・生徒の学力の状況

「板橋区学習ふりかえり調査」、「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」及び「全国学力・学習状況調査」の結果から、多くの生徒は基礎力・基本的な内容についてはおおむね定着していると判断される。自分の考えを書くことや論理的に考えて表現することに課題がある。一部、個別に支援の必要な生徒も見られる。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 板橋区授業スタンダードを定着させ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- ノート指導やグループ活動を充実させ、思考力判断力表現力の育成を図る。
- 放課後補習など個に応じた指導を充実させ、家庭学習の習慣を身に付けさせる。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

- 能動的な問題解決・探求型授業の実施と協働学習の導入。（主体的・対話的で深い学びの実現）
- 個に応じた指導の充実。（少人数指導・IT実施やICT機器の効果的活用）
- 「白梅塾」、「夏季補習教室」等による基礎基本学力の定着。
- 各種検定や発表会、小テストを活用した学習意欲の向上。
- 各種学力調査結果の分析と検証を通じての授業改善。
- 学びのエリアで統一した授業規律の徹底と、家庭と連携した家庭学習習慣の定着化。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
問題解決型・探求型の授業	協働学習の導入	指導と評価と支援の一体化
○教科の特性に応じて、単元の途中に問題解決型・探求型の授業を設定する。 ○「課題設定・発見→情報収集→分析・考察→課題解決→新たな課題設定」という学習の道すじを継続させ、既習事項や経験等を活用して、課題解決する力を育成する。 ☆小学校での取組を理解し、9年間の流れの中で子どもの成長に合わせた指導を行う。	○協働学習、相互評価、プレゼンテーション、同じ課題をもった生徒同士の学び合い等の活動から、他者の考え方や発想を学び、対話によって自らの考えを深め、生徒一人一人の思考力・判断力・表現力の育成に努める。	○教師による評価、生徒の自己評価、相互評価などにより、生徒の学習状況や達成状況を把握し、個に応じた指導や支援を行う。 ○評価をもとにして教師が自らの指導を振り返り、授業改善を図る。

（☆は、学びのエリアで共通）

■板橋区教育委員会グランドデザイン2018の実現に向けた取組

確かな学力の定着	教員の指導力向上	豊かな心と健やかな体の育成	「チーム学校」 保幼小中連携教育の推進
☆「学習のねらい」、「めあての明示と振り返り」と「まとめ」を毎時間行い、板橋区授業スタンダードに基づいた授業を行う。 ○各種学力調査等の結果を分析し、家庭学習や補習対応で学習改善を図る。	○ICT機器の効果的活用をさらに推進する。 ○OJT等により、教員間での研修活動を積極的に実施する。 ○授業観察後にフィードバックを行う。 ○相互に授業を見合い、学び合う。	○道徳の教科化に向け、全校体制での研修をさらに進める。 ○支援が必要な生徒についてデータベースを作成して共通理解を図り、学習環境を整え、個に応じた指導を充実させる。	○自ら学ぶ習慣をつけ、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ☆学びのエリアで授業規律について共通化し、9年間を通じて落ち着いて学習へ取り組めるようにする。

（☆は、学びのエリアで共通）